令和6年度（3学年用）

教科 国語

科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：高杉） （2組：永野） （3組：高杉） （4組：高杉） （5組：高杉） （6組：永野）

使用教科書：（精選論理国語 三省堂）

教科 国語

の目標：

【知識・技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力・判断力・表現力】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【主体的に学習に取り組む態度】言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

		【知識・技能】			【思考力・判断力・表現力】			【主体的に学習に取り組む態度】				
		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、論理的に構成された文章表現のありかたや、場面や意図に応じた適切な言葉選択に対する理解を深めることができるようにする。			語彙や文章構成を駆使して適切に表現する力を伸ばすとともに、示された文章内容を表現に即して適切に読み取り、読み取った考え方に対して持論や意見を持つことができるようにする。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、論理的に構成された文章の意義や価値を確かめさせ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。				
	単元	領域			指導項目・内容				知	思	主	配当 時数
		話・聞	書	読								
1 学期	【第一部】一 論理国語へのいざない ・佐藤雅彦「中身当てクイズ」 ・野矢茂樹「論理力と思考力」 ・渡辺雅子「納得の構造」 ・外山滋比古「情報の『メタ』化」	○	○	○	○論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする。 ・思考力と対比させながら論理力とは何かを考え、論理的な攻勢を持つ文章の魅力や価値をとらえる。 ・情報から導いた答えを論理的に説明する演習を行い、論理的な思考を言語化することの難しさや、他者に情報を伝達する際の論理力の重要性を理解させる。 ・論理の組み立てと文章構成の関係について理解を深め、より分かりやすく正確に伝わる表現を追求する。				○	○	○	18
	定期考査		○	○					○	○		1
	【第二部】五 国際社会を考える ・阿部潔「スポーツとナショナリズム」 ・見田宗介「南の貧困/北の貧困」 ・岡真理「『文化が違う』は何を意味するのか？」 ・ブレディみかこ「誰かの靴を履いてみること」	○	○	○	○社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする。 ・スポーツとナショナリズムの関係を整理し、その結びつきについて筆者の考えとその理由をまとめ、近年の社会的問題を取りあげ、ナショナリズムにおける「文明化」と「野蛮化」という観点から自身の意見をまとめる。 ・「『北の貧困』の存立機制」とはどのようなものか、筆者の考えをまとめ、「貧困」のもたらす社会問題を取りあげ、その背景や対策について調べ、レポートを作成する。 ・「文化的相対主義」に関する筆者の主張をまとめ、「文化の違い」を意識する場面とそれとすべき態度について、「新しい普遍性」という言葉を手がかりに話し合う。				○	○	○	18
定期考査		○	○					○	○		1	
2 学期	【第一部】二 「情報社会」を生きるⅠ ・鷲田清一「ぬくみ」 ・内田樹「ネット上の発言の劣化について」 ・岩井克人「マルジャーナの知恵」 ・宇野常寛「遅いインターネット」 【第二部】一 「情報社会」を生きるⅡ ・中村雄二郎「情報ネットワーク社会」 ・港千尋「擬似群衆の時代」	○	○	○	○社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする。 ・都市生活における自己と他者の関係について筆者の主張をまとめ、「現代生活」における「相互性」、「他者への想像力」の大切さについて具体例を基に話し合う。 ・「言論の自由」について筆者の主張をまとめ、現代のインターネット上の発言についての自分の意見を整理して表現する。 ・「情報の商品化」に関する筆者の主張をまとめ、どのようなものがあるか、身の回りから具体例をあげ話し合う。 ・筆者の主張を読み取り、「オンラインでの守るべき基本的諸ルール」について具体的に調べ、「情報ネットワーク社会」が抱える課題を発表する。 ・「待つ群衆」の出現が、実際に芸術や政治の分野であらたな現象を起こしている事例を探し、話し合う。 ・本単元で学んだことをふまえ、「情報社会」を生きるうえで大切なことは何かについて、考えたことを発表する。				○	○	○	25
	定期考査		○	○					○	○		1
	【第一部】五 生命について考える ・柳澤桂子「病と科学」 ・福岡伸一「動的平衡」 ・山中伸弥「ゲノム編集とiPS細胞」 ・赤塚京子「論理の窓から見たiPS細胞」	○	○	○	○設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する。 ・人間は科学とどのように向き合うべきかについて述べた筆者の主張を読み取り、倫理的問題をはらんでいる科学技術について具体例を調べ話し合う。 ・「サステナブルであること」を筆者はどのように捉えているかまとめ、バイオテクノロジーの「現在」について、どのようなものがあるか調べ発表する。 ・「ゲノム編集」や「iPS細胞」の「よい側面とよくない側面」についてどのような議論がされているのか調べてめとめる。				○	○	○	24
定期考査		○	○					○	○		1	
3 学期	【第二部】一 「情報社会」を生きるⅡ ・佐藤卓己「流言とメディア」	○	○	○	○関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする。 ・本単元での学びをふまえ、情報社会を生きるために必要な力について、メディアリテラシーの観点から考えたことを短い論文にまとめる。				○	○	○	15
	定期考査		○	○					○	○		1

令和6年度（3学年用）

教科

科目

教科：0

科目：国0

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 組～組

教科担当者：（A組：酒井）（B組：高橋）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：国語表現 大修館

教科 国語

の目標：

【知識・技能】社会生活に必要な国語についてその表現を理解し、適切に使うことができるようにする。

【思考力・判断力・表現力】社会生活における他者との伝え合う力を高め、思考力・表現力を伸ばす。

【主体的に学習に取り組む態度】言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力向上を図る態度を養う。

科目 0

の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
社会生活に必要な国語についてその表現を理解し、適切に使うことができる。	社会生活における他者との伝え合う力を高める。（場面・目的・状況に応じて適切に理解し、適切な表現ができるよう力を伸ばす。	言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力向上を図る態度を養う。

	単元	指導項目・内容	知 思 主			配当 時数
			知	思	主	
1 学期	自己PRと面接練習をする	○自分自身を見つめさせ、長所・短所を確認させ、効果的な自己PRの書き方・話し方を理解させる。ペアワーク・グループワークで発表させ、相互にアドバイスをさせる。教科書・補助プリントなどを用いて、どのように表現すれば効果的かを考えさせ、実践させていく。互いに面接練習を行わせる。	○	○	○	8
	志望理由書を書く	○それぞれの志望する大学について、詳細な情報を集めさせる。本人の志望理由を深く考えさせるとともに、当該の大学から見てどのような人材が期待されているかを理解させたいので、どのように書くべきかを考えさせる。さらに、相互に見合せて、よりよい文章を書くために、どのようなことを加えたらよいかを考えさせる。	○	○	○	8
	課題文を書く（I）	○問題解決型・主題提示型など様々な課題に対して要点をつかみ、出題者の意図にあわせて的確な小論文を書く練習をさせる。	○	○	○	6
	定期考査					2
2 学期	要約を書く	○本文を的確に理解し、正確な要約文を書く練習をさせる。表現などに問題があるなら指摘して、正しい文章になるよう添削指導を行う。	○	○	○	8
	課題文を書く（II）	○問題解決型・主題提示型など様々な課題に対して要点をつかみ、出題者の意図にあわせて的確な小論文を書く練習をさせる。生徒の志望する大学などの過去問に取り組みせ、添削をし、さらに書き直させ、添削指導を行う。	○	○	○	16
	定期考査					2
3 学期	様々な種類の文章を書く	○社会生活に必要な通信文（手紙・メールなど）の書き方について確認し、感謝している人（家族・友達・先生など）に送る手紙を書かせる。	○	○	○	10
	レポートを書く	○様々な課題に対応し、レポートを書く練習をさせる。自分の結論を書くために必要な資料をインターネット、新聞、資料などから集め、それを根拠として出題者の意図にあわせて的確なレポートを書く練習をさせる。	○	○	○	10

令和6年度（3学年用）

教科 国語

科目 文学鑑賞

教科：国語

科目：文学鑑賞

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（高杉）

使用教科書：（精選文学国語（三省堂））

教科 国語

の目標：

【知識・技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力・判断力・表現力】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【主体的に学習に取り組む態度】言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学鑑賞

の目標：

【知識・技能】				【思考力・判断力・表現力】				【主体的に学習に取り組む態度】				
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、文学の干渉に必要な漢字や語句の運用について理解を深めることができるようにする。				語彙や文章構成を駆使して適切に表現する力を伸ばすとともに、小説作品から自身の想像を膨らませ、鑑賞の経過や心の動きの変化を適切に表現することができるようにする。				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、論理的に構成された文章の意義や価値を確かめさせ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。				
単元	領域			指導項目・内容				知	思	主	配当 時数	
	話・聞	書	読									
1 学期	小説作品多読多解①	○	○	○	○主に現代短編小説の多読多解に取り組ませながら下記の指導を行う。 ・小説作品の読解を行わせる。 ・初読の感想を共有するための話し合い活動を行わせる。 ・読解ポイントの確認と再読を行わせる。 ・鑑賞のまとめとしてのレポートを作成させる。 ○中古文学史における基礎知識を学習させ、身に付けさせる。 ・文学史上の作品群の位置づけや価値を確認させる。 ○小説の速読力・読解力を向上させる ・小説速読トレーニング1回～5回を実施し、実力を高めさせる。				○	○	○	12
	定期考査		○	○				○	○		1	
	小説作品多読多解②	○	○	○	○主に近世短編小説の多読多解に取り組ませながら下記の指導を行う。 ・小説作品の読解を行わせる。 ・初読の感想を共有するための話し合い活動を行わせる。 ・読解ポイントの確認と再読を行わせる。 ・鑑賞のまとめとしてのレポートを作成させる。 ○中世文学史における基礎知識を学習させ、身に付けさせる。 ・文学史上の作品群の位置づけや価値を確認させる。 ○小説の速読力・読解力を向上させる ・小説速読トレーニング6回～10回を実施し、実力を高めさせる。				○	○	○	16
	定期考査		○	○				○	○		1	
2 学期	小説作品多読多解③	○	○	○	○主に現代長編小説の多読多解に取り組ませながら下記の指導を行う。 ・小説作品の読解を行わせる。 ・初読の感想を共有するための話し合い活動を行わせる。 ・読解ポイントの確認と再読を行わせる。 ・鑑賞のまとめとしてのレポートを作成させる。 ○近世文学史における基礎知識を学習させ、身に付けさせる。 ・文学史上の作品群の位置づけや価値を確認させる。 ○小説の速読力・読解力を向上させる ・小説速読トレーニング11回～15回を実施し、実力を高めさせる。				○	○	○	16
	定期考査		○	○				○	○		1	
	小説作品多読多解④	○	○	○	○主に近代長編小説の多読多解に取り組ませながら下記の指導を行う。 ・小説作品の読解を行わせる。 ・初読の感想を共有するための話し合い活動を行わせる。 ・読解ポイントの確認と再読を行わせる。 ・鑑賞のまとめとしてのレポートを作成させる。 ○近代文学史における基礎知識を学習させ、身に付けさせる。 ・文学史上の作品群の位置づけや価値を確認させる。 ○小説の速読力・読解力を向上させる ・小説速読トレーニング16回～20回を実施し、実力を高めさせる。				○	○	○	12
	定期考査		○	○				○	○		1	
3 学期	小説作品多読多解⑤	○	○	○	○文学賞受賞作品の多読多解に取り組ませながら下記の指導を行う。 ・小説作品の読解を行わせる。 ・初読の感想を共有するための話し合い活動を行わせる。 ・読解ポイントの確認と再読を行わせる。 ・鑑賞のまとめとしてのレポートを作成させる。 ○現代文学史における基礎知識を学習させ、身に付けさせる。 ・文学史上の作品群の位置づけや価値を確認させる。 ○小説の速読力・読解力を向上させる ・小説速読トレーニング20回を実施し、実力を高めさせる。				○	○	○	9
	定期考査		○	○				○	○		1	

令和6年度（3学年用）

教科 国語

科目 現代文演習

教科：国語

科目：現代文演習

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（ 余野 ）

使用教科書：（ LT実践長文読解【浜島書店】 現代文単語げんたん 改訂版【いづな書店】小論文頻出う）

教科 国語 の目標：

【知識・技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力・判断力・表現力】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【主体的に学習に取り組む態度】言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習 の目標：

【知識・技能】			【思考力・判断力・表現力】			【主体的に学習に取り組む態度】					
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、現代の評論読解に必要な漢字や語句の運用について理解を深めることができるようにする。			評論や小説の構成やを理解し、評論における筆者の主張や小説における登場人物の心情などを読み取ることができるようにする。			自ら主体的に学び、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
単元	領域		指導項目・内容				知	思	主	相当 時数	
	話・聞	書・読									
1 学 期	長文演習（評論・基礎編）	○	○	・評論の読解の仕方を習得する。 ・実際に問題に取り組むことによって、記述式、選択式の問題に慣れ、解答の求め方を理解させる。				○	○	○	16
	長文演習（評論編・応用編）	○	○	・語彙に関する演習を重ね、小テストを行うことによって、豊富な語彙を身に付ける。 ・毎回、ひとりずつ語句に関する発表を行い、語彙を身に付けるとともに話す力と聞く力も養う。				○	○	○	16
	定期考査	○	○					○	○		2
2 学 期	長文演習（小説編）	○	○	・小説の読解の仕方を習得する。 ・実際に問題に取り組むことによって、記述式、選択式の問題に慣れ、解答の求め方を理解させる。				○	○	○	16
	要約練習と発表	○	○	・要約の基礎を身に付ける。 ・語彙に関する演習を重ね、小テストを行うことによって、豊富な語彙を身に付ける。 ・毎回、ひとりずつ語句に関する発表を行い、語彙を身に付けるとともに話す力と聞く力も養う。				○	○	○	16
	定期考査	○	○					○	○		2
3 学 期	入試問題演習		○	・実際の問題に取り組み、実力を確認する。				○	○	○	2